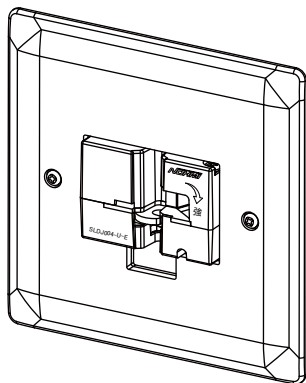


取扱説明書

自動閉鎖装置（ラッチ式・防火戸用）

SLDJ004-U-E



1. はじめに

本製品は、感知器の作動により、自動的に防火戸を閉鎖させる装置です。この取扱説明書はいつでもお読みいただけるように大切に保管してください。



ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。正しくお使いいただくために、注意事項を注意深く読み、内容をよく理解した上でご使用ください。

2. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

記載内容を十分に理解し、必ず指示された内容に従ってください。



警告

内容を守らなかった時に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。



注意

内容を守らなかった時に、取扱関係者が損傷を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または防災機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。



「一般的な注意」事項を示す場合。



「一般的な禁止」事項を示す場合。



「一般的な指示」事項を示す場合。

3. 注意事項



機器を分解・改造・修理をしないでください。感電・故障・発熱・発火の恐れがあります。



機器の本体、扉保持フックには注油しないでください。故障の原因となります。



防火戸保持状態で防火戸に強い衝撃を与えないでください。機器が誤作動し防火戸が閉鎖する恐れがあります。



機器の本体を交換する際は、必ず扉保持フックも交換してください。



防火戸を保持する際は、ゆっくりと押しつけて保持してください。勢いよく押しつけると故障の原因となります。

4. 仕様

型 式	SLDJ004-U-E
定 格 電 圧	DC24V
定 格 電 流	50mA
使用電圧範囲	DC16V～DC30V
保 持 力	約 100～700N 調整可能
使用温度範囲	-10℃～40℃
作 動 形 態	通電作動型
再ロック防止方法	電気的方法
奥行調整範囲	17mm～47mm
リード線	耐熱ビニール電線 0.5mm ² 、5本
適合埋込ボックス	大形四角アウトレットボックス
適合塗代カバー	スイッチカバー 2 個用塗代付
リミットスイッチ 接点容量	(白-黒)AC125V,3A(抵抗負荷) DC30V,2A(抵抗負荷) (赤-黄)DC30V,2A(抵抗負荷)
主 材	本体 : アルミダイカスト 化粧プレート : ABS 樹脂
質 量	約 0.6kg (扉保持フック含む)
付 属 品	本体取付ネジ、出面調整ピース、扉保持フック、 扉保持フック取付ネジ、化粧プレート取付ネジ、本書
自主評定型式承認番号	C-17-1

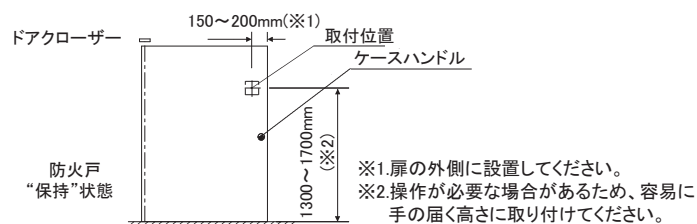
NOHMI 能美防災株式会社

本社/ 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL(03)3265-0211(大代表)

5. 取付方法

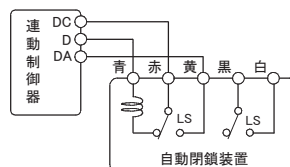
[1] 取付位置

取付位置は、下図に従ってください。



[2] 電線の接続

接続方法(扉保持状態)



手動閉鎖時に応答信号を発します。

本製品は無極性ですが連動制御器のプラスコモン、マイナスコモンを確認の上、電線を接続してください。



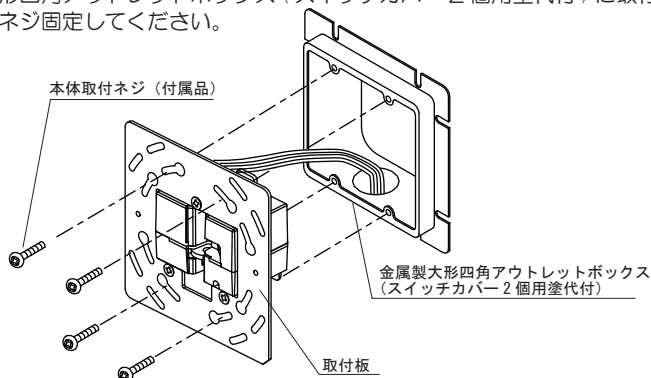
各リード線への接続は定格容量、極性に従い正しく接続してください。誤った場合、故障・発火の原因となります。



機器本体の使用しないリード線は絶縁処理をしてください。

[3] 本体の取付

付属の本体取付ネジ (M4×25) または適正な長さのネジを使用して金属製の大型四角アウトレットボックス (スイッチカバー 2 個用塗代付) に取付板をネジ固定してください。



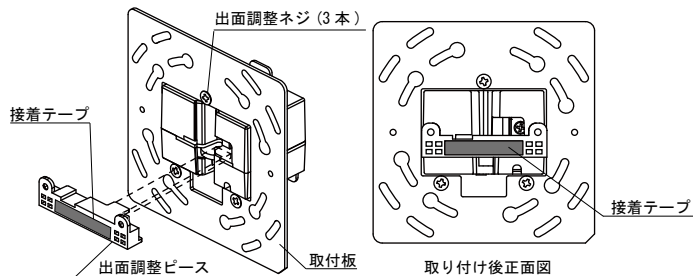
注意 大形四角アウトレットボックスが壁面にしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていない場合、防火戸の開閉に支障をきたす場合があります。

注意 取付板を大形四角アウトレットボックスにしっかりと固定してください。しっかりと固定されていない場合、防火戸の開閉に支障をきたす場合があります。

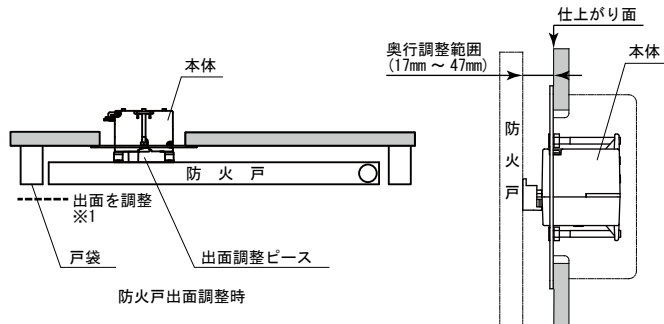
[4] 扉保持フック取付方法

保持力は出荷時から変更せずに出面調整を行ってください。

- (1) 出面調整ピースを下図のように本体に平行に取り付けてください。
(出荷時と同じ状態に取り付けてください。)



- (2) 出面調整ピースを取付けた状態で、防火戸の出面を調整してください。防火戸表面と戸袋表面の位置が合うように調整してください。※1
(注) 出荷時は出面調整範囲の最小値です。
・3カ所ある出面調整ネジを交互に回し、出面調整ピースに防火戸を押し付けた状態で防火戸と本体が平行になるように調整してください。
・壁と平行に本体を取り付けた場合、奥行調整範囲は17mm～47mmですが、角度がある場合はこの範囲が小さくなります。



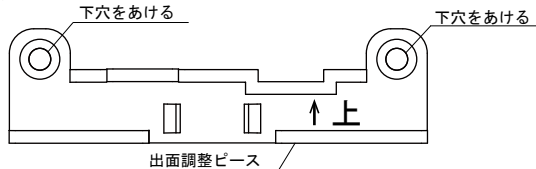
- (3) 出面調整ピースを本体と水平になるように取付けて、表面の接着テープのはく離紙をはがし、防火戸を自動閉鎖装置に押しつけ、防火戸に出面調整ピースを貼り付けてください。

注意 出面調整ネジを出荷時の状態より左に回さないでください。本体が脱落し、防火戸を保持できません。

- (4) 出面調整ピースの丸穴中央2か所にマーキングをしてください。防火戸に扉保持フック取付用の下穴を下表を目安にあげてください。(図参照)

板 厚 (mm)	1.0	1.2	1.6	2.0	2.3	注) 左記値は目安となります。
下穴径 (mm)	φ3.1	φ3.2	φ3.3	φ3.4	φ3.5	

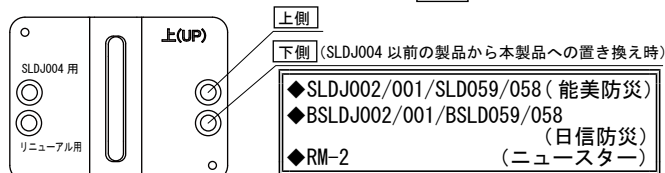
※既設機器交換時には必要のない場合もあります。



- (4) 出面調整ピースを防火戸からはがしてください。

[5] 扉保持フックの取付

扉保持フックをM4×20 タッピングネジ (付属品) にて防火戸に取り付けます。SLDJ004 を新規に取付ける場合は扉保持フック取付穴の「上側」を使用してください。リニューアル等で、SLDJ004 以前の当社製品からの交換で、既存ネジ穴を使用する場合は取付穴の「下側」を使用してください。



扉保持フックが防火戸へ取り付けいた状態で、防火戸を戸袋に収め、扉の出面を確認・再調整してください。

[6] 化粧プレートの取付

M4×4 ネジ (付属品) にて化粧プレートを取付板に取り付けてください。化粧プレートの取り付けには上下の方向性があります。中央穴の凸部が下側になるよう、取り付けてください。

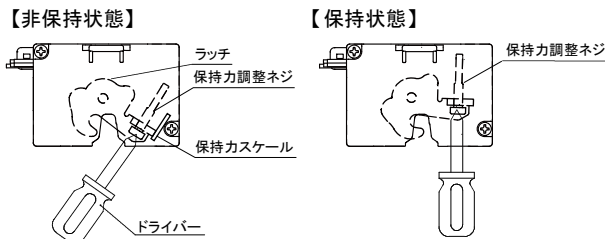
6. 保持力の調整方法

警告 保持力は適切な大きさに調整してください。小さい場合、正常作動時以外に扉が閉じ、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

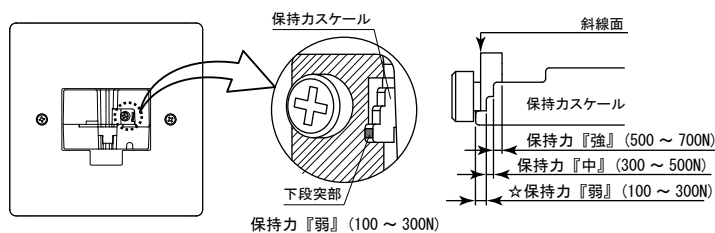
警告 保持力調整ネジを目一杯絞め込まないでください。正常に作動しなくなることがあります。

保持力は出荷時、約 100N に調整してありますが、調整する必要がある場合は次の順序で行ってください。保持力は 100N～700N で調整が可能です。

- (1) +ドライバーで保持力調整ネジを回転させ、調整してください。
保持力の調整は保持状態、非保持状態、どちらの状態でも可能です。
(注) 保持状態で調整した場合は、通電により非保持状態へ戻してください。



- (2) 保持力調整ネジを左に回すと保持力は小さくなり、右に回すと保持力は大きくなります。
保持力調整ネジを回すと保持カスケールが手前に出てきます。保持力の目安として、保持カスケールの下段突部のみが斜線面より出ている場合は保持力が弱、中段部が出ている場合は保持力が中、上段部が出ている場合は保持力が強となります。



☆手で防火戸を開閉する場合、300N 以下で設定してください。

出荷時は約 100N で、右に 1 回転させると約 100N 上昇し、保持力は約 200N となります。

- (注 1) 保持状態の防火戸を引っ張り、簡単に外れない程度に調整してください。
(注 2) 保持状態の防火戸が軽い衝撃などで外れないように調整してください。
(注 3) 保持力の調整には電動ドライバーは使用しないでください。

7. 動作・復旧方法

【動作】

- (1) 防火戸を戸袋に収め、扉保持フックを本体に押しつけて、防火戸を保持してください。
(2) 通電により防火戸が閉鎖することを確認してください。

【復旧】

- (1) 接続されている連動制御器の復旧操作を行ってください。
復旧方法は、設置されている制御器の取扱説明書をご参照ください。
(2) 防火戸を自動閉鎖装置で保持してください。

警告 防火戸保持後、再度、確実に保持しているかの確認をしてください。確実に保持していない場合、正常作動時以外に扉が閉じ、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

警告 防火戸の近くに物を置かないでください。火災時に所定の機能を発揮できません。